

● 発展著しい東アジア沿海地域において、「古い」民俗文化が活性化しつつあるのは何故か。華南・ベトナム・台湾などの事例から、文明・文化の動態を探る。

民俗文化の再生と創造

— 東アジア沿海地域の人類学的研究

東京外大アジア・アフリカ言語文化研究所 三尾裕子 編

近年では、こうした中央の正統とされた文化に対する周縁化された文化という枠組みが変容する可能性が見られるようになった。例えば社会主義国における市場経済の導入、経済を中心としたグローバル化は、国民国家の地理的或いは政治的な境界といった枠組みを越えたあるいはそれによって生み出される両側の格差ないし同質性を糸口にした関係性の構築でありである。また、このような境界をまたがる人々の相互行為の蓄積が、新たな地域アイデンティティを生み出す、といった現象もみられよう。

しかし、こうした極めて現代的な現象に対する研究は、これまで本格的な考察の対象とはされていまい。もちろん、個別社会についての社会・文化的な変動についての研究は行われているが、これを東アジアという広い枠組の中で、捉え、比較し、理論的な分析を可能とする方法論を構築する事が早急に求められている。

そこで、本書では、中国文明圏に属してきた広義の東アジア沿海部における最近の社会変動に関し、文化人類学的な現地調査により、以下の二点を説明することを目的とした。第一に、近代化、経済のグローバル化・ゼーションの中での地方民俗文化の再創造過程及びその特徴を明らかにすること、第二に再活性化した民俗文化と中華文明のグローバルゼーションとの相互関係、即ち文化の中心—周縁関係の変容または文化の個別化と画一化の間の相互作用の分析を行うこと、である。

文化人類学的研究の利点は、これらの現象をミクロな社会レベルから捉える点である。即ち、経済・政治的な動態や正統的中華文明などをマクロな視点からのみ把握しようとしても、人々の生活に根ざした社会変動は見えてこない。本研究は、ミクロなデータを、より広い社会的・歴史的脈絡と関連させることで、文化の動態研究に寄与するものと考ええる。
(序論より)

● 目次

序・東アジア沿海地域における「民俗文化」の意味——二〇世紀末における再生・創造	三尾裕子
韓国の民俗祝祭における行政の視点と住民の認識	伊藤亞人
年齢意識と社会関係の比較——ベトナムと韓国	李鎮栄
珠江デルタ西部地域における宗族、械闘、海外移住	瀬川昌久
宗族社会と民間信仰——三つの客家村落における民間信仰の人類学的考察	鄧曉華・楊翊(ウチラルト・三尾裕子訳)
中国民間信仰のダイナミズム——道教との関係	三尾裕子
ヴィエトナム北部の女神信仰——成長する信仰	田村克己
ベトナム南部・ソクチャン省D村における親族集団と民族範疇——「クメール人」のプム(pum)の形成過程から	中西裕二
東北ベトナムにおけるヌン族・ヌンアン集団の祭祀職能者・タオグに関する民俗学的研究	Chu Xuan Gao(小川有子訳)
ベトナムにおける〈土地神〉の変容のきょし——南から北へ	末成道男
クヴァラン民俗文化の再生における二面性——一九八〇年代・一九九〇年代の動向に関する考察	清水 純
一九七五年以降のベトナム南部の少数民族に関する研究状況	ファン・アン(今村宣勝訳)
あとがき・索引	

体裁	定価
・A5判・並製・カバー	・三一五〇円
・三〇〇頁	(本体三〇〇円)

発行所 風響社

114-0014 東京都北区田端四一四一九
電話〇三(三八二八)九二四九
http://www.fukyo.co.jp

注 文 書	流通センター取扱品
発売	風響社 TEL: 03-3838-9249
三尾裕子編	税込み 三一五〇円
民俗文化の再生と創造	部
東アジア沿海地域の人類学的研究	
ISBN4-89489-804-7 C3039 ¥3000E	

[お客様控ええ]

ご氏名
ご住所
お電話

月 日